



## 自転車の前ブレーキシュー(ブレーキブロック)の日常点検

皆様がよく利用しているシティ車は、車輪の銀色の金属の部分(リム)を、2つのブレーキシューがはさんでブレーキをかける構造になっています。

ブレーキシューは、黒またはグレーなどのゴムのようなものです。天候の良し悪しや気温の高低に関係なく、ブレーキは自転車を止めるために使うので、とても利用頻度が高く日常点検が欠かせないところです。



すり減ったブレーキシュー<sup>注</sup>

すり減ったブレーキシューの交換をせず、ブレーキシューの金属部分とリムが接触した状態を放置すると、リムにキズがつき、最終的にはリムが壊れてしまいます。

また、ブレーキシューがタイヤに当たっていると、タイヤの横(側面)にキズが付き、そこからタイヤが裂け、急に空気が抜けてしまうこともあります。

いずれにしても高い修理代となるばかりでなく、とても危険なので、早めに対応をしましょう。



壊れたリム<sup>注</sup>

ブレーキシューの主な日常点検は次のとおり。

- 取り付けに緩みはないか。
- ずれていないか(特にタイヤの部分に当たっていないか)
- 前ブレーキをかけていなくても、リムに当たったままになっていないか。
- すり減っていないか。(溝の残りが1mm以上あること)
- キズや割れなどはないか。
- 小石などがはさまっていないか。

ブレーキシューの日常点検をした際、気になることがあれば、すぐに、購入した自転車販売店などに相談しましょう。

注) 写真の出所はセオサイクル竹の塚店ホームページ(写真の一部を加工しています。)

## ブレーキの日常点検はとても大切!

＜自転車流通研究会 事務局＞

一般財団法人自転車産業振興協会 事業部

〒141-0021 東京都品川区上大崎3-3-1 自転車総合ビル4階

電話：03-6409-6922 FAX：03-6409-6868

Eメール：<http://www.jbpi.or.jp/9ki> のお問い合わせフォーム